

若者の声



政治の難しいことは分からない私でも最低な内閣なのはよく分かります。

国民の血税を私物化し、湯水のごとく使いまくり、社会保障を削りまくり、軍事を増やしまくり、海外ではばらまきまくり。

戦後培ってきた信頼も平和も壊しまくり！あ、まだありました、嘘つきまくり、逃げまくりの良いとこなしの安倍政権。モリカケ問題も共謀罪も

『しっかりと！丁寧に！真摯に！説明する？』と言ったら、それで説明したことになるってのもりなんですかね？

私は言いたい

安倍政権って、突っ込みどころ満載ですよ

モリ、カケときて、あれ？ザル蕎麦はないなと思ったら、国民の声を右から左に流して聞かない安倍首相がザル蕎麦なのか！（笑）

好き勝手に放題、嘘言いか放題でホント、国民をバカにしまくってるなと思います。言ってることとやっ

『ちくがうぐだろ〜っ!!』（豊田議員風）って言いたいです。

あ、もう一つ、秋葉原の『安倍辞めろー！』も言いたかった。僕ちゃんとお祖父ちゃんとお父さん達のためだけの独裁

政治を迫いつめるためにも、都議会躍進に続き、国政選挙でももっと共産党が伸びてほしいなと思います。

（神戸・さつき）

比例は日本共産党

東京都議選
自民大敗 (57→23)
共産躍進 (17→19)

国民の願い胸に

衆院議員 島津 幸広



潮目が変わるー東京都議選で体感しました。信守待ちの宣伝カーの隣に止まった車のドライバーから、「もう自民党には入れない」と怒越しに声をかけられました。演説をじっと聞いてくれた方は、「今回は共産党に投票します」と。

疑惑隠し、政治の私物化、憲法破壊に、安倍政権への有権者の怒りが沸騰しているのが手に取るように伝わってきました。投票日が近づくとつれ、日本共産党への期待の広がりを実感しました。

結果は、自民党の歴史

衆議院比例東海ブロック選出の共産党議員は現在もとむら伸子さんと島津ゆきひろさんの二人ですが、今度の選挙で三人に増やして発言力アップをめざします。「共産党」と書く人が増えれば、三人目の中野たけしさんを三重県から初の国会議員として送り出すことが出来ます。

躍進が躍進生む“好循環”

は、4年前の都議選の躍進が出发点でした。8議席から17議席に増えた勝利で日本共産党の第3の躍進がはじまり、その後の国政選挙で議席を伸ばしたのです。まさに、躍進が躍進を生む“好循環”。

次は総選挙。自民党、公明党、補完勢力を少数に追い込み、安倍政権を倒し、野党連合政権に道を開いたたいです。

都議選勝利のもう一つの側面は、野党と市民の共闘でした。共産党候補の応援で他党の議員が訴える場面があちこちで。勝手連的に支援の輪が広がったところも。

一日も早く解散・総選挙を勝ち取り、野党と市民の共闘の成功、日本共産党の勝利を！

中野たけしを国会へ

政策がびったりした共産党 成長発展の歴史とともに

鈴鹿市江島本町31の36

辻井 良和

1959年から60年にかけて「日米安保条約の改訂」に対する大きな反対の運動がありました。それまではアメリカが日本を防衛



60年安保闘争

すると決めて日本に基地を置いていたが、60年からは日本も防衛に参加するという改訂で、日本に軍備の増強を求め、経済でも協力すると付け加わりました。

この政治的盛り上がりの中で、私の政治的開眼も進み、7月15日の党創立記念日に合わせて日本共産党に加入しました。労働組合の中でもアメリカ大使館に出入りしてご馳走にありつき、権力にこびを売る幹部が増えて、私達の活動は難しくなりました。しかし大企業の支配を受けない建設労働組合で書記長を引き受け、その後鈴鹿市会議員に当選して働く仲間のために活動しました。

70年代に入り、地方自治体に共産党と当時の社会党などの共同で革新知事や民主的市長が生まれ、これらの自治体に住む人

口は、日本全体の過半数を超えるに到りました。

これら革新的地方自治体は、保育園を増やし、高等学校を増やし、公営住宅を増やし、高齢者の医療費無料や子どもの医療費無料を進め、国民の暮らしをよくする活動を進めました。政府はこの動きを止めようと、建設労組の委員長をスパイにして、私を「公職選挙法違反」にでっち上げ、活動を阻止しようとしたが、建設労組の仲間や共産党の仲間の支援で4年間の裁判闘争で「罰金」で済み、それから24年間共産党の議員を続け、石田議員、森川議員の3人会派を創ることが出来ました。80年には、公明党が社会党を誘って「社公合意」と称して、日本共産党を孤立化させる動きを作りましたが、これも乗り越えました。

いま日本共産党は、志位委員長のもとで「世界の宝」日本国憲法をしつかり実のあるものにしようと、国民の暮らしと権利、本当の平和を守るための政策に力を入れています。この道は、不破委員長が「自由と民主主義の宣言」に著わした民主主義革命の道です。いま、立憲主義やリスベクトの重視が言われていますが、この道は日本共産党が歩んできた道です。「共謀罪」法ができましたが、新しい綱領の下で、弾圧の口実を与えない、国民の利益を守る道を、歩き続けたいと思います。

私は言いたい
(1面のつつき)

マイナンバー「個人番号」一刻も早く廃止を！



今は、商売を続けていくのに大変な世の中だと思えます。マイナンバー制度ひとつとっても、何のメリットもなく、重い負担と責任だけ課せられ、国から押し付けられた制度です。

私達鈴鹿民商も弁護士さんにかけてもらい、制度の狙い、目的を勉強しました。

民商も加盟している全中連が7省庁と交渉し、国税庁の解答では「記載がないことをもって書類の收受をしないこととはなし。税法上不記載による罰則もない」とあらためて解答しました。

鈴鹿でも今年の申告書には記載しないことを申し合わせ、税務署に申告をしました。

住民税の「特別徴収税額決定通知書」を事業主に送る

際、従業員の「個人番号記載」の物を送りつけることを知り、市にやめるよう交渉を行いました。

他人に知られたくない「個人番号」を勝手に事業主に知らせる行為、大手企業(H)には、じきじきに配達、中小企業には郵便で配達、ポストに入れたら、「はい」そちらの責任！（これっておかしくないですか？）

抗議すると職員も答弁不能。交渉の結果、番号不記載をさせることは出来なかったが、番号の一部分を消すことを解答してきた。

京都府宮津市では心配していた誤配が相次いで4件9名発生しました。

民商では「自治体や事業者」に番号管理などに、莫大な費用を負担させ、挙句の果てに番号漏洩が起こっている。こんな制度は一刻も早く廃止すべき」と強く訴えました。

鈴鹿民商はこれからも廃止に向け行動をしていきます。

(鈴鹿民商 白塚山・松本)



はしづめ圭一の

はじめの一步

沖縄の不屈の心

6月議会が6月29日に閉会したので、7月1日から2泊3日で沖縄に行って来ました。森川さんも含めて鈴鹿から4名、尼崎の友人の仲間3名の7名で、目的は3つ。

①7月2日告示の那覇市議選応援。主にピラ配りを手伝いました。午後の暑い時間帯の休憩に、2013年に那覇市に開館した瀬長亀次郎と民衆資料「不屈館」を訪ねました。沖縄の祖国復帰と平和な社会の実現をめざして、米軍の強圧にも屈せず、命がけでたたかった瀬長さん。沖縄県民の4人に1人が亡くなったと言われる沖縄戦。そこからの復興と米国とのたたかいは今も続いています。②夜は、沖縄料理、民謡居酒屋を楽

しました。

③3日目、朝6時に宿を出て米軍辺野古基地ゲート前に行きました。ここでの座り込みはこの日で1093日目。9時前に工事用ダンプカーが機動隊に守られてやってきました。同時に基地内から機動隊員100名以上出てきて、座り込みの人たちを排除していきます。機動隊の人数の多さにびっくり！基地の裏手にまわると、埋め立てられようとする辺野古の海が眼前に広がります。この座り込みテント村は4824日目です。沖縄の人々の平和を求める不屈の心を感じた3日間でした。

(鈴鹿市議会議員 橋詰圭一)



不屈のたたかいを描いた映画が9月に三重県で上映されます。

ソーラーパネルの乱立ってどうなの？

最近、市内のあちこちでソーラーパネルが設置されているのを見かけるようになりました。太陽光を利用してできた電力を買ってもらえるという「実利」を狙っての投資なんじゃないか？自然エネルギーを活用した電力利用といえは聞こえはいいのですが、いろいろな問題点も浮かび上がってきているようです。まずは景観とのバランス。うつくしい自然のなかに突然あらわれた異様な人工物はなんとも無粋です。自然に囲まれて暮らそうと鈴鹿に越してきた方の家の前に突然ソーラーパネルが設置され、そのうえ、パネルが発す

私もひと言

る熱で家の室内が50度以上になったというひどい実態もあるそうです。それから、設置業者が万一、倒産でもしたら設備はどうなるのか？いろいろな不安や疑問があります。この問題を6月の市議会でも共産党の森川ヤスエ議員が質問しました。森川議員は設置のルールを明確にし、野放しの現状を改めるように提起しました。その後、早くも7月からパネル設置にあたって市としてのガイドラインの運用が始まっているようです。わたしたち市民も注目していきたいと思えます。

(桜島町 谷口 茂)



映画 標的の島 風(かじ)かたか

9月3日(日) 3回上映 ①9:30~ ②12:00~ ③14:30~

三重県人権センター 多目的ホール

主催；「標的の島」上映実行委員会

共産党後援会でチケットを取り扱っています。一般1000円 大学・高校・中学生500円





石田 秀三の

かけある記

「消えた横断歩道」

なくす予算増額を

7月3日「鈴鹿市交通安全都市推進協議会」の総会に参加しました。鈴鹿市の行政、主要な企業、各種団体の代表が集まる会議です。事業報告や本年の計画、会計報告などの議事後、意見を言える機会があったので、私は挙手して発言しました。以下はその大要。

今年の「夏の交通安全県民運動」チラシに、「運動の重点」として第1に「子どもと高齢者の交通事故防止・特に横断歩道における歩行者優先の徹底」とありますが、肝心の横断歩道があちこちで消えていて、なかなか書き直されていません。またパンフレット「鈴鹿市内の交通事故状況」で、人身事故発生ワースト2位と書かれた「北玉垣交差点（国道23号線）」は、以前から停止線が消えたままです。

今年は県の予算が多くなったと聞きますが、横断

歩道や停止線はきちんと書き直されるのでしょうか？



参加していた鈴鹿警察署長さんが答えていただきました。

ご指摘の横断歩道などの消えている箇所のご要望は

多くあり、いま急いで取り組んでいます。今年の県の予算は大幅に増やしていただき、普通の県並みになりました。公安委員会へ要望いただければ、現場の調査をして早急に実施いたします。

昨年の県議会でも問題となって、今年は予算が3倍になったと聞きましたが、それでやっと「普通の県並み」とは?!と驚きました。「運動の重点」や「ワースト2位」と言いながら横断歩道のペンキ代も足りないとは、イロハのイから間違っていると思います。

このころは「財政が厳しい」が枕言葉にされていますが、住民の安全や命にかかわる予算まで減らすことは許されません。三重県の遅れを取り戻すため、「普通の県以上」に予算増額を求めます。

(鈴鹿市議会議員 石田秀三)



2017年5月 京都にて

着物とわたし

朝顔、風鈴、うちわと聞けば季節は夏。おいしいものや楽しい行事のあれこれの思い出がこぼれ出ます。めぐる季節にあわせて衣服を整え、部屋をしつらえる事。エアコンに助けられる時代になってもそれは私たちの暮らしの中に息づいていますね。

その楽しさを追いかけるうちに初めて知ることも多く、たとえば朝顔。古くは牽牛子（けんごし）と呼ばれ、遣唐使が伝えた植物で、牛と交換されるほど高価な薬種でした。また牽牛・織姫の七夕伝説にたとえて、朝顔は恋を表す模様だったので。長い長い着物の歴史の中で今ではすっかり忘れられていたことに出会う驚きや楽しさ。

日々の暮らしの中には悲しみや苦しみも容赦なく訪れますが、着物がもたらしてくれるささやかな喜びに私の暮らしは静かに支えられています。

(神戸 野崎洋子)

古里の戦争 記録を読んで驚き 誤報で占領された悲劇



森川ヤスエの

こころに夢を



私の古里は伊平屋島です。先日村の記録を読んで驚きました。戦争も終わりに近づいた1945年6月3日のことです。突然100隻の米軍が伊平屋島沖に現れました。日本軍の基地もなく兵隊も一人もいない小さな島なのに、米軍の誤った情報によって、1000人の兵力があるとみなされてアイスバーグ作戦が展開されたのです。ここから島の悲劇がはじまった。

100有余隻の軍艦が島の南方に見え、大島方面へ行くと思っていたら島に向かってきて艦砲射撃や、空爆を3時間ほど行ってのちに上陸した。しばらく停泊していた軍艦はほとんど沖縄本島に廻航し、米軍の占領は6か月間続いたそうです。陸海両用戦車が引きあげの時には15台ぐらひは海に沈められたという。

上陸後、家々を焼き払い、一か所に島民を集めて捕虜生活を6ヶ月間強いられた悲劇を受けた島です。6月3日の死亡者は40を超えたという。米軍が引きあげてそれぞれの部落に戻り、瓦屋根で焼き払いから免れた僅かな家に共同生活をしながら、共同で家を作って直したという。

この島にも地方情報部員が名前を偽って教師で赴任していたこと、最後の特攻機が墜落したことや、飛行機の墜落で島の人に助けられた方は4人いたそうです。

島の周囲がわずか34, 23km、面積20, 66kmしかない小さな島に戦車15台！軍艦100隻余、！米軍3個師団が上陸。！どれだけ怖い思いをしたことでしょう。「戦争につながる一切の行為を否定する」の原点ですね。

(鈴鹿市議会議員 森川ヤスエ)

映画『ヒトラーへの 285枚の葉書』 (原題 Alone in Berlin)

月2回ほど映画を観に行きます。退職したとき、「健康で文化的な」生活ってなんやろって考えて始めた趣味の1環です。今月は尾野真千子の『いつまた、君と』（イオンシネマ）と標題の映画（名古屋の映画館）。

戦後70年以上たった今もナチの恐怖政治を題材にした映画は世界で絶え間なく作られています。それは、現代に通じるテーマがそこにあるからですね。この『ヒトラーへの285枚の葉書』はこれまでの反ナチの映画とは全く趣がちがいます。主人公は戦時下のベルリンで慎ましい生活を営むごく平凡な労働者夫婦。その描かれる世の中がなんと

密告・監視・翼賛・窮屈な日常で、戦時体制ってこんななんだと恐怖心さえ覚えます。

その夫婦に最愛のひとり息子の戦死届の軍事郵便が届きます。心のよりどころを失った夫婦は悲しみのどん底に……。職場も日常も戦争一色……。夫オットーはどうとうペンを握り締め「総統は私の息子を殺した。あなたの息子も殺されるだろう」と書いて、1通目を人目に触れる公共の場所に置きます。置き続けます。妻と。毎日のように、1通、1通。100通を超え、200通。：観客はもう、ゲシュタポの目を盗み、人混みをくぐり抜けながら駆ける夫婦と一体になり、この息苦しさすぎる社会に、抵抗し、人間としての尊厳をかけて葉書を置き続けるのです。

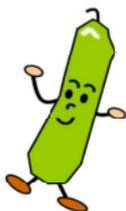
しかし、事態は思いがけない急展開で、その先にギリチンが映し出されます。

(石薬師町 萩森 繁樹)

私のおすすめ 簡単レシピ かんたんキューチャン漬け

桑原千香子（自由が丘）

きゅうり 1kg（乱切り）
しょうゆ 250cc
酢 100cc
さとう 200g
しょうが 1かけ（千切り）



ナベに調味料を煮立てて、火を止め、乱切りのきゅうりを入れる。

冷めたら、しょうがを入れ、冷蔵庫に入れる。

※きゅうりが多くとれる時期、簡単でおいしいです。ちなみに私は残った調味液に切り干し大根を入れて、ハリハリ漬けにします。

絵手紙



国府町 宮崎ヨシ子さん

私のふるさと

第9回

私の故郷は熊本県北部、山鹿市です。

山鹿市の自慢と言えば、毎年夏に二日間わたっておこなわれる「山鹿とうろうまつり」という伝統のお祭りですね。古代から続いてきたと言われていて頭上に灯籠を載せた女性達がお囃子にあわせて優雅に舞い踊る姿はどこか幻想的です。

市内にはあちらこちらに温泉がわき出していて、また歴史的価値の高い古墳が数多く残されるなど、豊かな自然と歴史や文化が息づ

いている街です。

私は山間の二十軒ほどの集落のなかで生まれましたが、周囲の様子は今もほぼ変わらないんですよ。となり近所がいたわり合いながら静かな暮らしをいとなんでいます。子どもの頃4～5キロの山道を学校まで通いましたが、おかげで丈夫な体に育ちました。

帰省すると「かえっとったんね」と小さい頃かわいがってくれた近所のばあちゃんがやさしく声をかけてくれます。若者の数が少ないのがちょっと悩みのようなのですが、いつまでも懐かしい風景が残っていてほしいです。

鈴鹿市若松・万代 衛さん（64歳）

編集後記

「みんなで作る後援会だより」、今号も多くのみなさんから原稿を寄せていただきました。▼いろんな個性を持つ後援会員のみなさんが、紙上を通じて交流しあうことが私たちの願いです。▼同時に共産党が何を考えているかも、しっかり伝えていきたい。▼一面には赤旗日刊紙から島津幸広衆院議員の記事を転載しました。もとむら・島津に続き、三重から中野たけしを何としても国会へ。▼東京都議選最終日、安倍首相の街頭演説は「帰れ、帰れ」のコールにかき消されました。▼普通ならそんな行動はひんしゆくを買いそうなものです。が、足を止めコールに加わる人垣がふくれあがる。▼安倍首相にアウトを突きつけるのか、それとも姑息な逃げ切りを許してしまうのか、私たちの運動にかかっています。この夏を悔いなく戦いぬきたいものです。